



小清水小学校 学校だより

羽ばたけ

平成27年5月25日 <第2号>

命を守る学習

小清水町立小清水小学校長 寺本 聡

□暦の上では5月6日（水）が「立夏」でした。今年は春先から暖かく、雪解けも早かったせいか、例年より子どもたちが「自転車」を乗り始める時期も早かったように思います。小学校では毎年、その時期に合わせて「青空交通安全教室」を実施しています。今年は、5月1日（金）でした。

■「3・4年生グループ」「1・2年生グループ」「5・6年生グループ」ごとに、「安全な歩き方」「正しく安全な自転車の乗り方」について学習しました。町の交通安全指導員の皆様のご協力、そして小清水駐在所・上野所長様のご指導の下、実際に街中を歩いたり自転車に乗って学習しました。

その学習を見ていて、気になったことがありました。これです。

周りの様子を見て、自分で状況を判断し、行動する

この力が子どもたちには、弱いように感じられたのです。

□学校近辺の小清水町の街中には、信号機が手押し式を含めて5カ所あります。ここを渡る分には問題無いのですが、信号機のない横断歩道を渡る際に次のようなことがありました。

- ①右から来る車も左から来る車も、はるか遠くにあるのに渡ることができない。
- ②右から来る車も左から来る車も、横断歩道で止まってくれているのに渡ることができない。

「慎重な上にも慎重」であることは、決して悪いことではありません。ましてや、「不用意な飛び出し」など、もってのほかです。その意味では、子どもたちは安全に気をつけて真剣に学習していたのです。ただ、・・・上記①②に関しては、側に居る「指導員さんの指示が無ければ渡ろうとしない、渡ることができない」つまり、判断できないという点において、気になったのです。

■子どもに限らず、人は日々の経験を通して学び、行動していきます。「どのような状況の時なら渡って良いのか」「どのような状況の時には渡ってはいけないのか」これらを、子ども自身で判断できるようにし、行動もできるようにしていかなければなりません。東日本大震災の教訓でもある、

自分の身は自分で守る

を子どもたちにしっかりと身に付かせるためにもです。学校でも指導していきますので、ぜひご家庭でもご協力ください。もう一つ、以前にも記しましたが自転車に乗る際は「ヘルメットの着用」と「ヘルメットを自分一人で着脱できる」ように、ご家庭のご協力をお願いします

□避難訓練も実施します。去年は、私から「喝」が入りました。子どもたちの一部に「真剣み」が見られなかったのです。今年は、より一層「命を守る学習」であることを意識させ、実施します。

1年生を迎える会

4月28日（火）1年生を迎える会が児童会の主催で開催されました。1年生は6年生と一緒に入場した後、学年毎に工夫を凝らした出し物やゲームを楽しんでいました。



青空交通安全教室

5月1日（金）、警察や交通安全協会などのご協力の下、交通安全教室を行いました。2年生以上は自転車の乗り方を、1年生は道路の横断の仕方等を学びました。ご家庭でも、交通安全のお声かけをお願いします。

